



# Ophthalmology WEBカンファレンス

ご自宅や病院、診療所などから、インターネットを通じて  
ライブに参加いただけるカンファレンスです。

## RVOの最新アップデート ～病態から治療まで～

**日時** 2019年1月30日(水) 19:00～20:00

WEBカンファレンスの参加方法は、裏面をご参照下さい。

網膜静脈閉塞症 (retinal vein occlusion : RVO) に伴う黄斑浮腫に対しては、抗血管内皮増殖因子療法(抗VEGF薬)の承認により、急性期の視力障害の原因として黄斑浮腫が重要視されるようになりました。

しかしながら、RVOに伴う黄斑浮腫の病態と治療方針に関しては不明な点が残っており、抗VEGF薬治療後には早期に黄斑浮腫が消退するものの、再発を繰り返すことも多く、繰り返し再投与が必要になる場合もあります。

本セミナーでは、「RVOの最新アップデート～病態から治療まで～」と題し、まず、瓶井先生より、特にBRVOの病態及び診断について、最新の情報をお伝えします。次に、小椋先生より、エビデンスからいえるRVO治療について、また先生自身の治療方針についてお話し頂きます。

多くの先生方のご参加を心よりお待ちしております。

### 講演1 OCT-Angiography から読み解くRVOの病態



**瓶井 資弘** 先生  
愛知医科大学 眼科学講座 主任教授

■ご略歴  
1988年 大阪大学医学部卒業・眼科入局  
1990年 国立大阪病院眼科 医員  
1995年 大阪大学医学部眼科 助手  
1996年 米国Cleveland Clinic, Cole眼研究所 留学  
2000年 大阪大学医学部眼科 講師  
2000年 京都府立医科大学眼科 講師  
2006年 大阪大学医学部眼科 助教授 (2007年より准教授に名称変更)  
2011年 大阪大学医学部附属病院 病院教授  
2015年 愛知医科大学 眼科学講座 主任教授  
現在に至る

### 講演2 理想的なRVO治療を考える



**小椋 祐一郎** 先生  
名古屋市立大学病院 病院長  
名古屋市立大学大学院医学研究科視覚科学 教授

■ご略歴  
1980年 京都大学医学部 卒業  
1985年 イリノイ大学医学部眼科 留学  
1986年 京都大学医学部 助手  
1993年 京都大学医学部 講師  
1995年 京都大学大学院医学研究科 助教授  
1997年 名古屋市立大学医学部教授  
2017年 名古屋市立大学病院 病院長  
現在に至る

#### Q&Aについて

インターネットを通じて随時質問を受け付けます。  
お寄せいただいた質問は講演の最後に瓶井資弘先生  
小椋祐一郎先生より直接ご回答をいただく予定です。

共催: **Bayer** バイエル薬品株式会社

**Santen** 参天製薬株式会社